

# まなぶだより

和歌山県教育センター学びの丘 広報誌



学びの丘イメージキャラクター  
まなぶ



## 令和2年度初任者研修

～新しい生活様式を踏まえた効果的な研修の在り方について～

初任者研修校外研修は、「授業づくり」「学級経営・生徒指導」を柱として、教員として必要となる資質・能力を高めるとともに、実践的指導力の向上をめざし、系統的に実施しています。今年度は実施形態等を一部変更するなど、新型コロナウイルス感染症対策に取り組んできました。研修の実施に当たっては、初任者が安心して研修に臨めるよう、検温、マスクの着用、手指の消毒、対人距離の確保に努めています。

### 1. ウェブ会議システムを活用した研修（集合研修）

7月27日、教職基礎研修⑤を開催しました。新型コロナウイルス感染症対策のため、教育センター学びの丘、和歌山市青少年国際交流センター、和歌山県薬剤師会館の3会場9部屋での分散実施となりました。

研修の前半は、教育センター学びの丘多目的ホールで行われた、県教育長講話を全会場へ配信しました。宮崎泉教育長から、「教員としての資質を向上させるために大切なこと」について、メッセージとエールをいただきました。

#### 県教育長講話



#### 学習指導案の検討

##### 1 単元(題材)名・単元の目標・単元の評価規準

###### 単元名

- ・教科によっては、題材名とする場合がある
- ・国語科については単元名と教材名が必要な場合がある

###### 単元の目標

- ・単元の学習の中で、児童生徒がどのような力を身に付けるのかを具体的に記述する
- ・学習指導要領で示された目標や内容を踏まえて設定する

###### 単元の評価規準

- ・目標を達成した児童生徒の姿を具体的に記述する

後半は、受講者が各自で作成した学習指導案について検討を行いました。初任者からは、「授業の目標と評価の整合性を考えること、児童生徒への対応、手立てについての協議が盛り上がった」「他の先生の指導案を見ることでワークシートの使い方や授業展開の工夫に気付くことができた」等の感想が寄せられました。

授業づくりに真摯に向き合うみなさんの姿がステキですね！



#### 小学校での授業研修の様子



#### 高等学校での授業研修の様子



### 2. 授業研修

9月から各地方で初任者研修の授業研修が始まっています。この研修は、研究授業の参観及び協議を通して、児童生徒理解に基づいた授業の在り方、教材研究及び指導技術等について理解を深め、授業実践力の向上を図ることを目的としています。

授業後の協議では、日々の実践や研修での学びを生かし、受講者相互に「明日の授業がよりよくなること」をめざし、活発な議論が行われています。

貴重な集合研修の機会に積極的に親交を深め、同期の仲間と学びのネットワークを築きましょう。  
教育センター学びの丘では、効果的な研修の在り方について、研究を続けていきます。



## 市町村教育委員会等と連携した研究

これまでの学校現場では、授業づくりや学級経営のノウハウ等の実践的指導力は暗黙知として継承されてきましたが、教員の大量退職、大量採用により、それらを引き継いでいくことが難しい時代になっています。当センターは、これらのノウハウ等を形式知として明らかにし、どの教員も学び続けながら学校全体としての教育力を高めていくため、効果的に校内研修を進めることのできる支援体制の構築について市町村教育委員会等と連携した研究を進めています。以下に、今年度実施している5つの研究を紹介します。

### 白浜町教育委員会との連携 【研究指定校：富田中学校】

若手教員の力量形成に向け、ベテラン教員や中堅教員が果たすべき役割を各々が自覚し、お互いを高め合う協働的な同僚関係の構築をめざし研究を進めています。「各教科横断的な取組」「リーディングスキルの向上」「ピアサポート」「SDGs」等、今日的教育課題の解決につながるキーワードに基づく研究において、各教員は生き生きとした様子で、取組を進めています。



### 串本町教育委員会との連携 【研究指定校：串本小学校】

新学習指導要領の全面实施に対応すべく、今求められている資質・能力を身に付けられる国語科授業について研究を進めています。具体的には、新しくなった教科書の特色を効果的に用いて各学年の学びを系統的に指導できるように、教材分析や指導方法等を検討し、授業づくりを進めています。また、学習評価の在り方を含め、新学習指導要領に対応した指導案の書き方についても研究を深めるよい機会となっています。



### すさみ町教育委員会との連携 【研究指定校：周参見小学校】

研究主題を「伝え合い、認め合う児童の育成をめざして～子供の主体的な学びを育てる～」として、「授業のユニバーサルデザインの視点を生かした授業づくり」、「数量関係を適切に把握するための手段としての図示化を身に付けさせ自力解決力を高める」、「学習スタンダードを活用しながら子供の主体的な学びを進める」を主な内容として、算数科の授業づくりについて研究に取り組んでいます。



### 有田地方へき地複式教育研究会との連携

本県では、複式学級を有する学校が全県下に多数存在し、全国よりも複式学級の割合が高く、へき地・複式教育の充実に向けての研究は、喫緊の課題となっています。そこで、今年度、有田地方のへき地・複式教育研究会と連携し、へき地・複式教育における学校経営や学習指導等について研究を進めています。有田川町立八幡中学校を会場に実施した2回の研究会では、研究授業を教員個々の授業改善につなげられるようにする事後協議の持ち方、研究授業と研究授業をつなげる校内研修の在り方等を提案しました。



### 田辺市特別支援教育研究会との連携

異学年の児童と一緒に学ぶ自閉症・情緒障害特別支援学級における算数科の授業づくりについて、研究会員の教員と一緒に研究しています。研究会は全5回を予定しており、第1回、第2回の研究会では、授業づくりの基礎・基本となる部分（教科書の構造や授業づくりのステップ、複式授業をアレンジした授業展開、障害特性に合わせた課題設定等）を具体的な教材を扱いながら確認しました。第3回研究会（10月27日）は、田辺市立田辺第三小学校で、学びの丘が提案する「授業づくりパッケージ（授業構成表）」を活用した授業提案を行いました。

